

第 38 回 (2009 年度) 日墨研修生・学生等交流計画募集要項 (日本建築家協会)

日本建築家協会 (= J I A) が、候補者 1 名を推薦することが外務省より、依頼されています。

J I A 経由で応募される方は、詳細は添付の外務省の募集要項詳細を熟読、確認の上、必要書類と揃えて、J I A にお申込みください。

なお、外務省での応募の締切は 1 0 月 2 日 (金) 迄としていますが、J I A 経由で申し込まれる場合は、外務省への推薦のために、J I A としての書類、面接審査を予定していますので、9 月 4 日 (金) 迄に、J I A にお申込み願います。

1 概要

- 1) 研修期間は、約 1 年間。
- 2) メキシコ国内の大学でのスペイン語研修と専門分野 (建築関係) の専攻
- 3) 往復旅費、一定額の滞在経費は、募集側が負担、授業料は免除

2 . 応募資格

- 1) 日本国籍の健康な者
- 2) 一定のスペイン語力、または米語力を有する者
- 3) 大学卒業生、又はこれに準じた資格、職務経験のある者
- 4) 2 0 1 0 年 4 月 1 日現在で、2 2 歳以上 3 5 歳未満の者
- 5) メキシコで単身で渡航が出来る者

3 . J I A の推薦を受けて応募する場合の手続き

- 1) 別記応募書類を 2 0 0 9 年 9 月 4 日 (金) (必着) 迄に下記に送付のこと

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 2 - 3 - 18、JIA 館 4 階

(社) 日本建築家協会 本部事務局 (日墨研修生募集係) 宛

TEL/03-3408-7125、 FAX/03-3408-7129

- 2) 応募書類の書式は、上記事務局に請求ください。メール添付送付します。
- 3) JIA で選定の上、9 月 25 日迄に結果をお知らせいたします。
- 4) 合格者については、JIA が応募者に代わって外務省に推薦書を添付の上必要書類を提出します。
- 5) 外務省、メキシコ政府の最終選考等を勘案すれば、最終合否連絡は来春以降となる見込みです。

以上

中南中合第892号

平成21年8月5日

関 係 各 位

外務省中南米局中米カリブ課長



第38回（2009年度）日墨研修生・学生等交流計画
派遣生の募集について

標記計画（通称：日墨交流計画）は、両国の青年を互いに留学させ、両国間の相互理解と友好親善を増進することを目的に、当時のエチェベリア大統領の構想として1971年（昭和46年）に発足したユニークな計画として、これまでに多大な成果を挙げております。（日墨交流計画（概要）別添1．参照）

今後速やかに候補者の募集、予備選考を行い、12月下旬に在メキシコ日本国大使館を通じてメキシコ政府に推薦する予定であります。つきましては、本件計画の趣旨を御理解頂くと共に、適当な候補者1名（募集要項別添2．参照）の推薦につき御検討願います。

職員推薦の御希望があるか否かにつき取り急ぎ承知したく、希望される場合には9月25日（金）までに文書にて御連絡願います。

御推薦頂く場合には、本件計画への参加のための資格要件、所要経費等につき別添募集要項によって御了知の上、必要書類を10月2日（金）〈必着〉までに当課宛に送付願います。

付属添付

本信送付先 国際協力機構(JICA)人事部長
日本貿易振興機構(JETRO)総務部長
国際交流基金(JPF)総務部人事課長
国際協力銀行(JBIC)総務課長
独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構(JOGMEC)総務部人事課長
財団法人日本サッカー協会総務部長
日本建築家協会本部専務理事 柳澤 璋 忠

日墨交流計画（概要）

（正式名称：日墨研修生・学生等交流計画）

平成21年8月

外務省中南米局

中米カリブ課

1. 設置の経緯・実績

- （1）メキシコのエチェベリア大統領（当時）が打ち出した構想に基づき、71年、日墨両国間の研修生・学生等の交流計画について、日墨政府間で合意。世界的にもユニークかつ余り例を見ない交流計画。日墨両国の相互理解及び友好のためのシンボリック事業である。
- （2）2009年7月現在までに36回実施され、これまでの研修実績は、双方合計で約3,800名。現在は、毎年双方50名ずつの枠で実施している。
- （3）多くの元研修生が各界で活躍しており、両国関係にとどまらず、日本と中南米の交流を支える力となっている。

2. 実施内容

- （1）研修期間：約1年間
- （2）研修内容：メキシコ国内の大学等におけるスペイン語の研修及び各自の専門分野の専攻。
- （3）待遇：往復旅費、派遣期間中の一定の滞在経費をメキシコ国家科学技術審議会（CONACYT）が負担。授業料は免除。
- （4）選考：一般公募枠については、選考試験により、推薦枠については、中央省庁、姉妹都市、各団体等からの推薦を受け、日本側で候補者を選定し、メキシコ側が受入を決定。

3. 交流計画の意義・評価

- （1）日墨友好の絆の強化に大きく貢献。
- （2）我が国におけるメキシコ、中南米研究及びスペイン語研究のレベルの向上に貢献。
- （3）メキシコのみならず中南米諸国全般で、経済その他の分野の第一線で活躍する人材を養成。
- （4）将来を担う若い世代の人々に、メキシコ・中南米の異文化・社会を直接体験しつつ勉強する機会を提供。（了）

第38回（2009年度）日墨研修生・学生等交流計画募集要項 （関係省庁、姉妹都市、各団体による推薦枠）

2009年8月
外務省中南米局中米カリブ課

メキシコ政府及び日本政府は、日墨研修生・学生等交流計画により、日本からメキシコへの留学生を下記の通り募集する。

1. 募集人数： 各省庁、各姉妹都市（県、市、町）、各団体より1～3名程度
2. コースの概要・対象者：

●専攻コース：スペイン語初・中・上級（約1年間）

各自のスペイン語のレベルに応じて下記の研修を行う。なお、大学における専攻分野については、文系、理系のあらゆる分野（科学技術、芸術、スポーツ科学等の分野も含む）の授業の受講（聴講）が可。

◆Aコース（スペイン語上級者）

約1年間の研修期間の当初より、大学、研究機関等における専門科目の授業の受講（聴講）を中心とした研修を行う。

◆Bコース（スペイン語中級者）

約1年間の研修期間の前半（約6ヶ月間）は外国人のためのスペイン語コースを受講し、後半（約6ヶ月間）は大学等における専門科目の授業の受講（聴講）を中心とした研修を行う。

◆Cコース（スペイン語初級者）

約1年間の研修期間を通じて、外国人のためのスペイン語コースを受講し、スペイン語の習得を中心とした研修を行う。但し、研修期間後半（6ヶ月間）は、スペイン語コースの受講に加えて、大学等における専門科目の授業（1科目）の受講（聴講）を行う。

（*なお、Cコースについては、応募の時点では、スペイン語能力は問わないが、本交流計画の研修候補者に選出された場合は、渡航までの期間で出来る限り基礎的スペイン語の習得に努めることが求められる。）

●研究コース：スペイン語上級者（大学院レベル）

◆修士課程コース（約2年間）：

大学院、研究機関等で、専門科目の授業を履修すると共に、特定の教授の指導の下に研修を行う。修士課程修了時に修士論文（スペイン語）の提出が求められる。修士号の取得が可能。

◆研究論文準備コース（約6ヶ月～1年間）：

我が国の大学院（修士・博士課程）に在籍する者が、自らの研究テーマを深めることを目的として、6ヶ月～1年間、メキシコの大学院、研究機関の指導教授について研究を行う。研修終了時には、受入機関である国家科学審議会（CONACYT）に対し、研修成果を纏めた報告書の提出が求められる。（なお、当該研究論文準備コースについては、研修先の指導教授の同意が得られる場合に限り、論文指導を英語で受けることも可。

また、英語で指導を受けることが認められた者については、研修成果の報告書を英語で提出することも可。）

（*但し、上記のいずれの研究コースについても、2010年3月末までを目処に、各自にて研修希望先の大学院、研究機関とコンタクトを取り、希望する指導教官に研究計画書等を提出し、受入許可・受入同意を得ることが必要となる。なお、申請の時点で既に受入許可・

受入同意を取得している場合は他の出願書類と併せて提出すること。)

3. 研修分野：スペイン語及び文系、理系のあらゆる分野（科学技術、芸術、スポーツ科学等の分野も含む）
4. 受入機関：メキシコ国家科学技術審議会（CONACYT）
 - （1）研修生の受入大学等については同審議会が各研修生の希望分野や語学力を考慮して決定する。
 - （2）同審議会が受入れ可能な研修先リスト一覧は別添のとおり。
 - （3）B及びCコースの「外国人のためのスペイン語コース」(<http://www.cepe.unam.mx>)は、メキシコ国立自治大学（UNAM）において行われる。
5. 派遣・給付期間：
 - ◆専攻コース（A、B及びCコース）：約1年間（2010年7月末～2011年7月末）（予定）
 - ◆研究コース
 - ◇修士課程コース：約2年間（2010年7月末～2012年7月末（予定））
 - ◇研究論文準備コース：6ヶ月～1年間（2010年7月末～2011年7月末までの期間（予定））
6. インターンシップ：

希望者については、研修期間中、自らの所属する省庁、姉妹都市（県、市、町）、団体等のカウンターパートとなるメキシコ側政府機関、姉妹都市、各種団体等において、（当該メキシコ側受入機関より合意が得られる場合には、）1～2ヶ月程度のインターンシップを行うことが出来る。（なお、インターンシップの期間、形態にかかる詳細については、各受入機関と調整の上、決定の予定。）
7. 待遇（第36回 2007年度の場合）：
 - （1）滞在費：月額7,398ペソ（*なお、到着時に、滞在費1ヵ月相当額の手当が追加で支給される。）
 - （2）医療保険：メキシコ政府（公務員保険・社会サービス庁：ISSSTE）が原則として負担。
 - （3）入学金・授業料：免除（但し年間の学費が14,000ペソを超える場合にはこの限りでない）
 - （4）渡航費：東京～メキシコ・シティー間の往復航空券支給
 - （5）住居の選定：原則ホームステイとし、CONACYTや大学等の協力を得ながら留学生自身が行う。

（*なお、メキシコ政府側よりの支給額他、待遇については毎年見直しの上改訂される。）
8. 応募資格（原則として、過去に本計画によって派遣された者は対象外）：
 - （1）日本国籍を有する者
 - （2）健康な者
 - （3）一定のスペイン語力、又は、英語力を有する者
（*スペイン語初学者については、渡航までの期間で、可能な限り基礎的スペイン語を自ら学ぶことが求められる。また、スペイン語初学者は、一定の英会話能力があることが望ましい。）
 - （4）大学卒業者、又は、これに準じた資格、職務経験を有する者。
 - （4）2010年4月1日現在で、22歳以上35歳未満の者。
 - （5）メキシコに単身で渡航できる者

9. 渡航前説明会の開催：

出発前に外務省において渡航前説明会が開催される。渡航及び研修にあたっての重要事項の説明があるので、研修生は原則として必ず参加することが求められる。

10. 留意事項

- (1) 上記1. に記載の専攻AコースとBコース、また、専攻Aコースと研究・修士課程コースの併願は可。それ以外のコースの併願は認められない。
- (2) 第38回（2009年度）研修の実施計画については、今後、メキシコ側と協議の予定である。本募集要項に記載されている諸要件（専攻分野、受入機関、派遣期間、待遇等）は前年度の例に基づく暫定的なものであり、今後変更もあり得る。
- (3) 研修期間中の帰国、また、メキシコ国外への旅行は原則として認められない。
- (4) 安全で有意義な留学のため、この奨学金に応募する者は、志望校を選定する際、また、奨学金研修生に選定され渡航する際には、各自で必ず事前に留学先の治安状況等の安全情報をはじめとする留学に関する情報を収集すること。なお、情報収集にあたっては、公的な留学情報機関である「日本学生支援機構留学情報センター」や海外でのトラブル防止に役立つ世界各国の治安情勢や滞在中の留意点などの安全情報を提供している外務省の「海外安全相談センター」の情報提供サービスを活用すること。
- (5) メキシコ国家科学審議会（CONACYT）のホームページ（下記のHPアドレス参照のこと）、（独）日本学生支援機構留学情報センターの情報などを参照の上、出願書には希望研修大学、又は、大学院（第1希望及び第2希望）を記入する。
- (6) 都内にて開催される渡航前説明会及び渡航当日の空港までの交通費等は全て自己負担となる。
- (7) 研修生は、メキシコ到着後に受入機関であるCONACYTによるオリエンテーションを受けた後、受入大学、大学院等で研修を行う予定。
- (8) 研修期間中、全ての研修生は、メキシコ政府受入機関（CONACYT）に対し定期的（2ヶ月毎）に研修活動報告書を提出することが求められる。また、メキシコ政府よりの奨学金を受けているとの意識のもと、真面目な態度で研修に取り組み、良好な成績を修めることが求められる。

11. 出願書類、提出先と提出期限：

- (1) 出願書類：別記「出願書類一覧」参照
- (2) 願書提出先：外務省中米カリブ課（担当：メキシコ班：菅井（e-mail:nichiboku@mofa.go.jp、TEL:03-3580-3311、内線：2494）
- (3) 願書提出期限：2009年10月2日（金）（必着）

注意：各省庁、各姉妹都市（県、市、町）、各団体におかれては、外務省中米カリブ課に10月2日（金）に必着となるよう提出締め切りを設定して下さい。

●独立行政法人 日本学生支援機構留学情報センター

TEL：03-5520-6111/6161 ホームページ：<http://www.jasso.go.jp/ryugaku/>

●メキシコ側受入機関（メキシコ国家科学技術審議会（CONACYT））が受入可能な研修先一覧：別添

●外務省ホームページ：<http://www.mofa.go.jp/mofaj/>

●海外安全相談センター（外務省領事局海外邦人安全課）
TEL：03-3580-3311（代）（内線：2902、2903）

●海外安全ホームページ：<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

●メキシコ国家科学技術審議会（CONACYT）：<http://www.conacyt.mx>

提出書類

1. 履歴書（写しは写真貼付後の正本からとること）
和文 1通（写2部）
西（英）文 1通（写2部）

2. 推薦書（所定用紙別添）
和文 1通（写各1部）

3. 推薦状
和文 3通（写各1部）
西（英）文 3通（写各1部）

候補者を良く知る人物3名による。家族は不可。知人は可。形式は自由。

※ 正本が和文（又は、西文・英文）のみしか用意できない場合は、正本と正本のコピーに応募者本人の西・英訳（又は、和訳）を記入したものを提出すること。

4. 研究計画書（※ワープロ等を使用すること。形式は自由。）
西（英）文 1部（写1部）
（概要）和文 1部（写1部）

専攻コース

（1）A、Bコース（スペイン語中・上級者）

- ①具体的な研究計画（大学・研究機関名、学部学科名・研修内容等）及び勤務先や職務内容とメキシコとの関係について、西文にてA4用紙で計10枚程度にまとめる。
②研究計画の概要を和文にてA4用紙で4枚程度にまとめる。

（2）Cコース（スペイン語初級者）

- ①具体的な研究計画（大学・研究機関名、学部学科名・研修内容等を）及び勤務先や職務内容とメキシコとの関係について、和文及び英文（又は、西文）にて（内容が一致していること）A4用紙で4枚程度にまとめる

研究コース

（1）修士課程コース及び（2）研究論文準備コース

- ①具体的な研究計画（大学院、研究機関名・研究テーマ、研究内容等）について、和文及び西文（又は、英文^(*)）にて（内容が一致していること）A4用紙で各10枚程度にまとめる。
（研究論文準備コースの希望者は、現在在籍中の大学院等における修士論文のテーマに関連して、メキシコの大学院等でどのような調査研究を行いたいのか具体的に言及すること。）
②研究計画の概要を和文及び西文（又は、英文^(*)）にてA4用紙で各2～3枚にまとめる。
③帰国後の予定について、和文及び西文（又は、英文^(*)）にてA4用紙で各3枚程度にまとめる。
（*）研究論文準備コースの希望者で、英語での指導を希望する場合は、英語で提出することが可。

5. 志望動機書（※ワープロ等を使用する事。形式は自由。）
和文 1部（写2部）
西（英）文 1部（写2部）

和文及び西文（又は、英文）にてA4用紙2枚程度に纏める。

6. CONACYT（墨国家科学技術審議会）申込書（別紙）
研究計画書同様に第1希望と第2希望を明記すること
西（英）文 1通（写1部）

7. 卒業証明書及び成績証明書
和文 1通（写1部）
西（英）文 1通（写1部）

学士以上の学位を取得した場合は全ての成績証明書に加え卒業証明書を提出する。

8. 語学（西語又は英語）能力を証明する書類（保有者のみ）
西（英）文 各1通（写1部）

西語：スペイン語技能検定、DELE等の合格証明書（研究コースの申請者については、DELE中級を取得していることが望ましい）、語学学校（西語コース）の修了証（修了レベル記載のもの）等

英語：TOEFL、TOEIC、実用英語技能検定等の合格証明書

※ 正本もコピーで可

※ なお、専攻コース・Aコース及び研究コースを希望する場合は、スペイン語能力を証明する上記書

類を必ず提出すること。

9. 戸籍抄本

和文 1通(写1部)
西(英)文 1通(写1部)

正本が和文のみしか用意できない場合は、正本と正本のコピーに応募者本人の西文、又は、英文訳を記入したもの両方を提出する。

10. 健康診断書

西(英)文 1通(写1部)

形式は自由。診断書サンプルを添付する。(※サンプル用紙をそのまま使用しても良い。)

11. 写真

4葉

4cm×5cm、上半身脱帽、6ヶ月以内に撮影したもの。裏面にローマ字で所属大学・会社等、氏名を記入。履歴書の和文、西(英)文正本にそれぞれ貼り付けること。残り2葉は添付。

<提出書類についての注意事項>

1. 出願書・経歴書のコピーは、写真貼付後の正本からとること。
2. 正本が和文(又は、西文・英文)のみしか用意できない場合は、正本と正本のコピーに応募者本人の西・英訳(又は、和訳)を記入したものを提出すること。
3. 出願書類は、右上に書類の番号を記入し、1部ずつ順に重ねて左上にホッチキスでとじ、和文と西文(又は、英文)をそれぞれ作成すること。
4. 出願書類は、A4判の大きさに折りたたむか、台紙に貼付し、A4判で統一すること。
5. 開封無効の証明書等も開封してとじること。
6. 提出された書類は一切返却しない。

推薦書

年 月 日

省庁、団体代表者署名捺印

(省庁・団体)

(職名)

(氏名)

第37回日墨研修生、学生等交流計画に基づきメキシコ政府によって受け入れられる省庁・団体研修生の候補者として、下記の者を推薦します。

1. 本人氏名

漢字

男・女

ローマ字

2. 生年月日 (西暦で記入のこと)

年 月 日 生まれ 満 才

3. 勤務先及び所属課名

4. 勤務先 (住所、郵便番号、電話番号・FAX番号、e-mailアドレスを記入)

5. 研修希望先大学 (又は、大学院)

第1希望:

第2希望:

6. 受入先大学 (又は大学院) において聴講 (受講) を希望する講座

7. スペイン語能力

(例えば、「大学にて第二外国語として履修」、「スペイン語圏に滞在経験有り」など、具体的に記載のこと)

8. インターンシップの希望の有無

有 ・ 無

希望が有る場合は、インターンシップを希望するメキシコ側機関名:

(各候補者の希望を踏まえ、メキシコ側受入機関と協議の上、期間、形態等の詳細を決定の予定。)

9. 勤務先とメキシコの関係

(特に交流計画に基づくメキシコ人研修生の受け入れの有無等)

10. 本件に関する連絡先

(担当者氏名、所属部課名、電話番号・FAX番号、e-mailアドレス、住所、郵便番号を記入)

Certificate of Health

Name in full: _____ Age: _____

(Family name)

(First name)

Address: _____

I. History (Injury, illness or operation during the past five years)

Injury or illness:

Operation:

II. Examination:

Height: _____ cm

Weight: _____ kg

Check for normal:

HeadEyesEarsNosePharynxNeckHeartLungsAbdomenReflexes

Describe abnormalities: _____

III. Summary:

In my opinion the applicant's Health and physical condition is :

I believe this applicant(is / is not) physically able to study abroad.

Remarks: _____

Signature: _____

Address: _____

Date: _____